

融雪に関する調査報告

▼外観写真



北海道地域・北東北地域

特性

近年、北海道地域・北東北地域の住宅は無落雪屋根の採用が主流のようです。※1
屋根に積もった粉雪（パウダースノー）は水分が少ないため軽く、また風で飛散するため、雪下ろしをすることも減ったようです。

また、寒冷地の住宅の特徴である、軒・ケラバ・庇の出が大きな建物では、雨だれが壁を伝いにくいいため、雨だれに起因する汚れや藻の繁殖が比較的少なくなる傾向にあります。また、ガイナ塗装面では『つらら』ができにくいという報告があります。それはガイナの塗膜の表面は冷たくなりやすく、塗膜の表面がミクロの凹凸形状になっていることから勾配があれば屋根に水がとどまりにくいから、等に起因する現象だと思われます。

（参考）※1

青森市「青森市民とともに進める雪処理に関する条例」第5条2
札幌市 建築基準法施行条例12条「冰雪の落下による危害の防止」

▼外観写真



南東北地域・北陸地域

特性

南東北地域・北陸地域の建物は、一般的に雪下ろし作業を必要とする形状の屋根を採用している場合が多いようです。

他の塗料と同様に雪下ろしを行う際に塗膜に傷がつく可能性があります。

ガイナ塗装屋根の積雪について

南東北地域・北陸地域においては一般塗装と比較すると塗布した屋根の形状・材質にもよりますが、ガイナを塗装した屋根は雪が落ちにくい傾向にあるようです。雪を滑らせて落とすことを目的とした屋根にガイナを塗装するときはよくご確認頂く必要があります。

（既存屋根表面のザラつきにより鉄板屋根・カラーベスト等への塗装は雪が滑りにくく、アスファルトシングル等に関しては滑りやすくなる傾向にあるようです。）

施工上の注意・対策

- ・施工工事については霜等の影響を考慮し、気温5℃以上、湿度65%未満の環境下で施工して下さい。また風の強い日・施工面が濡れている場合にも塗装は避けて下さい。（塗装面の温度があまりに低いとガイナの塗膜が正常に形成されないケースが考えられます。）
- ・施工箇所の素材・状況により下地処理材を選定してください。
- ・降雪地域においては施主様へガイナ塗装屋根の特徴（屋根に塗布した場合に雪が滑りにくくなるなど）を十分に説明した上で施工を行う事が重要です。

過去の実績：ガイナ塗装により夏の暑さはもとより、冬の厳しい寒さにも十分な効果を発揮しています。

北海道への施工事例は1,000案件以上あり（2007年～2015年）、寒さの厳しい地域においてもガイナの塗膜は十分に維持できております。

- ・外部へガイナを施工した方（北見市）・・・外部のみの施工でも1～3月の灯油使用量が700ℓから360ℓ程度まで削減できました。
- ・内部へガイナを施工した方（帯広市）・・・冬季、ガイナの室内塗装と遠赤外線ストーブの相性が良く、室内が暑くなるくらいに環境が改善され快適に過ごせるようになりました。